

NANTAN

119だより

NANTAN
FIRE DEPARTMENT
2016
No. 10



▲トライやるウィーク（和田山中学校、生野中学校）

災害状況



主な内容

- 特集 熊本地震(緊急消防援助隊派遣) … 2・3
- ◆トライやるウィーク
消防ふれあい祭り ……………… 4
 - ◆南但危険物安全協会総会
兵庫県危険物安全協会安全・安心大会
甲種防火管理新規講習会
初期消火協力者表彰 ……………… 5
 - ◆消防写真館
消防白書・火災調査レポート ……………… 6・7
 - ◆お知らせ ……………… 8

熊本県で大地震

緊急消防援助隊派遣

平成28年4月14日21時26分、熊本県熊本地方を震源とするM6.5の地震(前震)が発生し、熊本県益城町では震度7を観測しました。その28時間後の4月16日1時25分には、同じく熊本地方を震源とするM7.3の地震(本震)が発生し、熊本県西原村と益城町で震度7を観測しました。

地震発生後の4月16日7時45分、緊急消防援助隊の出動要請があり、南但消防本部は2隊6名車両2台(救急隊3名、後方支援隊3名)の一次派遣を決定しました。同日9時40分、豊岡市消防本部派遣隊と共に但馬隊として南但消防本部を出発し、岡山県の山陽自動車道吉備SAで県内の各消防本部の援助隊と合流し、兵庫県隊として陸路被災地熊本へ向かいました。翌17日深夜、熊本県北部の山鹿植木広域消防本部に到着し以後、同本部山鹿消防署を宿营地として活動に備えました。17日午前に熊本市内に入り、熊本市東区、益城町で倒壊家屋に取り残された住

民がいないか確認し、発見の際にはすみやかに救助や救急搬送ができる態勢をとりながら家族構成、行方不明者の情報の聞き取り調査や捜索を2日間行いました。19日前、既に熊本入りしていた二次派遣隊(救急隊3名、後方支援隊3名)と業務を引き継ぎました。二次派遣隊は、20日夕方には熊本県南阿蘇村高森町へ移動、南阿蘇村を活動拠点とし、一次派遣隊同様、住民の安否確認を行いました。同日、村内に土砂崩れが発生し、兵庫県隊は深夜から明け方にかけて行方不明者の救助活動にあたりました。大型重機が使用できなかつたが、南阿蘇村では、行方不明者の懸命な救助活動が続いている中、現地を引き上げるのは後ろ髪をひかれる思いだつた。」といふ語っていました。

南但消防本部一次派遣隊を進めました。二次派遣隊は2日間の活動を終え22日夜、南但消防本部へ無事帰任しました。

今回の派遣活動について「けがをしてギプスをしている人が捜索に協力してくれた」というと声をかけられたりして励みになつた。今回捜索したエリアに犠牲者や行方不明者はいなかつたが、南阿蘇村では、行方不明者の懸命な救助活動が続いている中、現地を引き上げるのは後ろ髪をひかれる思いだつた。」と





▲宿营地（熊本・山鹿消防署）



▲兵庫県隊集結の様子（熊本県）



▲行方不明者捜索（南阿蘇村）



▲安否確認調査（熊本市東区）



▲兵庫県隊引継ぎ式（熊本・山鹿消防署）



▲倒壊した家屋（熊本市）

地震発生直後から、震度1以上を観測する地震の回数は1400回以上を数えました。揺れの頻発する九州地方だけでなく、全国どこでも地震発生のリスクがあります。日頃から非常持出品の用意や家具の転倒防止、避難場所・経路の確認などの備えをするとともに防災訓練などに積極的に参加しましょう。最後に、亡くなられた方のご冥福をお祈りしますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

死 者	49人
関連死疑い	20人
安否不明者	1人
負傷者	1,663人
避難（熊本）	8,231人

内閣府防災情報 5月30日現在

地震被害状況

消防士にトライやる



▲養父消防署（心肺蘇生法訓練の様子）

今年も養父・朝来市内の中学2年生を対象としたトライやるウイークが養父市は5月30日から6月3日までの5日間、朝来市は6月6日から10日までの5日間、各消防署で実施されました。この取り組みは、職場体験を通して地域の人々と交流し、「生きる力」「心の教育」を育むことを目的としています。

朝来消防署には、和田山中学校生2人、生野中学校生2人の合計4人が、また、養父消防署には、関宮中学校生2人、大屋中学校生2人の合計4人が参加しました。



▶ロープ渡過訓練

（養父市内の中学生が朝来消防署に出張訓練）

救助訓練では7mの高さから吊るしたロープを腕の力だけで登る訓練や、水平に張った20mのロープを渡る訓練を行いました。また、腕立て伏せや腹筋、ランニング等の体力トレーニング

が整列しての勤務交替と体操、消防車両、救急車両の点検整備から1日が始まります。消防業務では整列や敬礼等、消防の基本動作の習得や実際に率先を持つた放水の体験、空気呼吸器を取り扱う訓練、ロープ結索を行いました。また、各署において火災を想定した消防活動訓練を行った際は、チームワークを發揮し、見事な人命救助を見せてくれました。

救助訓練では心肺蘇生法の訓練で、人工呼吸及び胸骨圧迫等の技術を習得し、命の大切さを学びました。予防業務では避難訓練や初期消火の体験、また、養父公民館にて総合検査の様子を見学（養父署）しました。初日は声も小さく動作も緩慢でしたが、日が経つにつれて徐々に声も大きくなり、節度ある行動が出来るようになりました。

今回のトライやるで得た知識・技術・精神力、そして仲間や命の大切さを今後の人生に活かし、チャレンジ精神を常に持ち、あらゆること期待しています。

消防署の朝は、職員全員

では、自分の体力を振り絞って救助隊員にくらい�认っていました。

救急業務では心肺蘇生法の訓練で、人工呼吸及び胸骨圧迫等の技術を習得し、命の大切さを学びました。予防業務では避難訓練や初期消火の体験、また、養父公民館にて総合検査の様子を見学（養父署）しました。初日は声も小さく動作も緩慢でしたが、日が経つにつれて徐々に声も大きくなり、節度ある行動が出来るようになります。

4月24日、イオン和田山ショッピングセンター駐車場で「第14回消防ふれあい祭り」を開催しました。会場では、子供たちに大人気の「はしご車の体験乗車」をはじめ、水消火器を使用した「消防体験」や「住宅用火災警報器等の防災物品の展示」などが盛況でした。なかでもはしご車体験乗車では、地上15mの高さまではしごが伸びると「わあ、高い。人が小さく見える。また乗りたい！」と元気いっぱいの笑顔で答えてくれました。



▲朝来消防署（体力鍛成の様子）

第14回 消防ふれあい祭り



▶水消火器の使用体験

「去年、抽選で外れて乗れなかつたからうれしい。普段こんなことはできないので貴重な体験です。」等の感想を聞くことができました。また、今回のふれあい祭りでは、アルファ化米の試食を行いました。参加者の中には、アルファ化米の備蓄を検討していたご家庭もあり、味に満足されて購入されるとのことでした。

様々な体験を通して、地域の皆さんの防火および防災に対する意識を高めることを目的に、今後も防災のことを楽しみながら学んでいただけるようなイベントを企画し、開催したいと思



◀はしご車の体験乗車

平成28年度 南但危険物 安全協会総会

5月19日(木)和田山ジュピターホールで、南但危険物安全協会総会が開催されました。会場において、危険物の保安に功績のあつた事業所及び危険物取扱者に対し、南但危険物安全協会会长より表彰が行われ、次の方々が受賞されました。

平成28年度 兵庫県危険物 安心・安全大会

9日(木)「兵庫県公館」におき、危険物安全週間中の6月

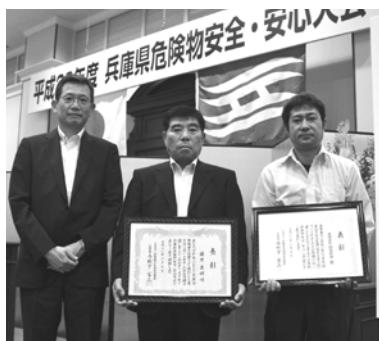


△優良事業所
鈴木 良久 様(写真右)
(株)NEOMAX近畿

△優良危険物取扱者

（写真中）

（優良危険物取扱者）
藤原 真樹 様
東京精留工業株生野工場
（写真中）



第二部の記念講演では「熊本地震の被害状況と被害者対応」と題して、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター主任研究員の坪井氏より、熊本県益城町の現地対策本部で経験された貴重な活動内容を、過去の教訓を交えて紹介いただきました。



▲屋内消火栓取扱い訓練の様子

いて、県内地区協会関係者約3百名が参加し盛大に行われました。第一部の表彰式において、南但危険物安全協会の会員の方が次のとおり受賞されました。

△兵庫県危険物安全協会代表 理事表彰

5月26日(木)、27日(金)の両日、消防本部で甲種防火管理新規講習会を開催しました。

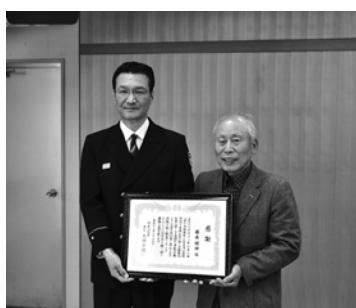
甲種防火管理 新規講習会

初期消火協力者に感謝状

火災現場において適切で迅速な消火活動を行い、被害を最小限に止めたとして2月19日、養父市尾崎の南則夫さん、妙子さんご夫婦と南孝夫さんに、4月19日、朝来市山東町野間の藤本健伸さんに、それぞれ感謝状と記念品が贈呈されました。お二組の活動は次のとおりです。



▲右から南則夫さん・妙子さん夫妻、南孝夫さん



▲藤本健伸さん(右)

講義では、防火管理の意義と制度の概要、防火管理と火災の知識、消防用設備等とその維持管理、危険物と灾害対策、自衛消防活動と消防計画等について学びました。

実技訓練では、訓練用消火器を使った消火訓練、煙の部屋を避難する煙の体験を行い、最後に効果測定を行いました。

終始熱心に受講され全員が資格を取得されました。

今後、職場のリーダーとしての自覚を持ち、講習会で習得した知識を十分に発揮していくことを期待しています。

1月26日 16時30分頃、養父市尾崎で発生した建物火災では、近所の住宅の裏手から煙が漂っているのを発見した南妙子さんは、すぐさま家人の安否を確かめ、ご主人の南則夫さんに知らせた。知らせを受けた南則夫さんは、119番通報し消防器を2本もつて現場に駆けつけ、騒ぎを聞きつけて自宅から出てこられた南孝夫さんと3人で協力して消火活動を行い、同火災による被害をぼやにくい止められました。

4月2日 8時10分頃、朝来市山東町野間で発生した建物火災で、自宅の台所で火が上がっているのを発見した家人からの電話を受けた藤本健伸さんは、近くの公民館から消火器を持って駆け付け、住宅内に入り消火活動にあたり、同火災による被害をぼやにくい止められました。

この度の事例のように、いざという時に近隣住民等の協力が、災害時の被害軽減に大きく役立ちます。4人の行動に大変感謝しています。

消防写真館

おもなできごと



消防訓練（2月25日 さわらびライフ）

火災を想定した避難訓練を行いました。口をハンカチで押さえ、煙を吸わないように姿勢を低くして避難されました。



普通救命講習（2月16日 平生園）

利用者の方のもしもの時に備えて、心肺蘇生法やAEDの取扱いなどを学ばれました。強く、速く、絶え間なくのリズムで訓練されました。



庁舎見学（3月15日 広谷児童センター）

今年多くの子供達が庁舎の見学に来てくれました。見学に立ち会った職員の服を着た未来の消防士達は、みんな笑顔になっていました。



消火訓練（2月26日 栄建設）

止血法や骨折の手当などの応急手当を学ばれた後、水消火器の取扱い訓練を行いました。積極的に取り組まれ、素早く的を倒されていました。

出動件数は、**ともに減少**
搬送人員は、**ともに減少**
前年同期と比較すると、1人減少しています。
12件、65人減少しています。

救急

種別	署別	総 数	朝来署	養父署
総 数		20 (16)	12 (8)	8 (8)
建 物		5	3	2
林 野		3	2	1
車 両		2	1	1
その 他		10	6	4

()内は前年同期件数

※出火件数増加

出火件数は20件で、昨年に比べ4件増加しています。春は空気が乾燥しており、ごみの焼却火等を原因とする火災が多く発生しています。

火災

種別	署別	総 数	朝来署	養父署
総 数		14 (37)	5 (12)	9 (25)
交通事故		8	3	5
火 灾		0	0	0
水 難		0	0	0
その 他		6	2	4

()内は前年同期件数

※件数、救助人員ともに減少
前年同期と比較すると、出動件数は23件、救助人員は15人減少しています。

種別	署別	総 数	朝来署	養父署	管 外
総 数		1,238 (1,350)	599 (653)	639 (697)	0 (0)
急 病		739	379	360	0
交通事故		96	55	41	0
一般負傷		193	96	97	0
その 他		210	69	141	0

()内は前年同期件数

消防白書

平成28年
1月～5月



消防訓練 (4月15日 和田山公民館)

訓練用の水消火器を使用し、消火器の取扱い訓練を行いました。公民館を利用されていた親子連れの皆さんも積極的に参加されていました。



新入職員研修会

(4月4日 公立八鹿病院)

新入職員の研修として、消防用設備等の説明や避難経路の確認を行いました。いざという時のため熱心に聞かれていました。



普通救命講習 (3月27日 白井区)

心肺蘇生法、AEDの取扱い方法を学ばれました。皆さん、疑問に感じたことは積極的に質問をされ、熱心に取り組まれていました。



消防訓練 (5月29日 田路地域)

但馬クリーン作戦の後、消防教室を行いました。消火栓の訓練では昼間家におられる女性達が消防団から指導を受けました。



消防訓練 (5月9日 生野中学校)

避難訓練後に、粉末消火器を使用し、初期消火訓練を行いました。燃え上がる炎に驚いた様子でしたが、落ち着いて消火していました。



消防訓練 (4月26日 シーレックス)

新入従業員を対象に、消火器と屋内消火栓の取扱い訓練を行いました。放水始め、放水止めの合図を大きな声でされていました。

日 常過ごしている中で、力
セットコンロやライターを使
う機会はたくさんあると
思います。しかし、捨てる際
に最後まで使い切らずに処
分したり、ガスを抜かずに、
そのまま捨ててしまつた経
験は無いですか。

ここ数年、ゴミ収集車(パッ
カー車)の車両火災が増えて
おり、原因の多くは、カセッ
トコンロのボンベやライタ
ーとなっています。

ゴミ収集車は、強い圧力で
ゴミを押し潰していきます
が、その際、金属が擦れ合い
静電気や火花が発生します。
この静電気や火花がカセッ
トコンロのボンベやライ
ターのガスに引火し車両火
災が発生します。

このような火災が発生す
ると、作業を中断し消火活動
しなければなりません。また、
ひどい場合には、作業員や通
行人、周辺住民に被害が及ぶ
場合もあります。

今年の1月にも南但地域
でゴミ収集車の車両火災が

ありました。本火災での怪我
人はありませんでしたが、今
後も同様の火災が発生する
かもしれません。

ゴミを出す私たちが、ルー
ルを守ることで火災を未然
に防ぐことが出来ます。より
快適な生活、そして安全、安
心な地域を作るため、もう一
度ゴミ出しルールを見直し
てみましょう。



火災調査レポート

危険、ゴミを捨てる際は注意が必要です！

INFORMATION

お知らせ

◆40人目の救急救命士誕生

この度、新たに救急救命士となりました
清水宏幸 消防司令補
(34歳)です。

約半年間の救急救命士養成課程で学んだ知識、技術を住民の皆様に還元できるよう今後も自己研鑽に励み、冷静で正しい判断ができる救急救命士を目指します。



NANTAN
119だより

NANTAN 119だより第10号

2016年7月1日発行(年3回発行)

■発行・編集
南但消防本部予防課
兵庫県朝来市
和田山町枚田436-1

■TEL 079-672-0119
■FAX 079-672-5046

南但消防本部



平成18年の住宅用火災警報器の設置義務化から10年が経過しました。住宅用火災警報器は古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。いざという時、鳴らし声で警報器に付いている紐を引っぱったりボタンを押したりして点検し、正常に作動しない場合は交換しましょう。

◆平成28年度
南但消防本部消防職員採用試験を実施します。

●試験職種
消防職

●採用予定人員
3名程度

●試験日程
平成28年9月18日(日)

(教養試験)
平成28年9月19日(月)

(体力試験)
(主曜日・日曜日・祝日は除きます。)

●受付期間
平成28年7月25日(月)

午前8時30分～午後5時15分
(郵送の場合は、8月19日午後5時15分までに届いたものに限ります。)

●受付時間
(主曜日・日曜日・祝日は除きます。)

◆普通救命講習
心肺蘇生法やAEDの使用方法など、救急車が来るまでの応急手当を学びませんか。
日時：平成28年9月10日(土)
9時から12時まで
場所：南但消防本部
コムニティ消防センター
定員：20名(一般市民)
受付：平成28年8月22(月)
から9月8日(木)まで

今春4月14日21時26分の初震以降、熊本県・大分県で連続して発生した熊本地震は多くの人命を奪い、甚大な被害をもたらしました。南但消防本部も緊急消防援助隊員計12名をいち早く派遣しました。

◆隊員が目の当たりにしたのは、被災地の変わり果てた惨状

と、苦難の中でも助け合い、必死にこの災難を乗り越えようとする方々の姿だったといいます。

編集手帳

◆任務を通じ、被災地の窮状、避難所での切実な訴えを見聞する中で、もし同じことが南但地域で起こつたらどうなるのかという危機感、事前準備は万全かという問題意識も同時に胸に刻んでの帰任でした。

◆災害は忘れたころでなく忘れなくてもやつてくるという近時の戒めをかみしめています。

◆災害を予測し防ぐことはできなくとも、何時か必ず起るのだと心して備え、「減災」することは可能です。

◆南但消防本部は新体制下で4年目を迎えました。地域の安全と住民の皆様の安心を目指して邁進する覚悟を新たにしています。

